YAGI　**電源分離可能型**　シグナスター

取扱説明書

家庭用 CS・BS・UHF ブースタ

CS・BS・UHF増幅（FM・VHF パス）

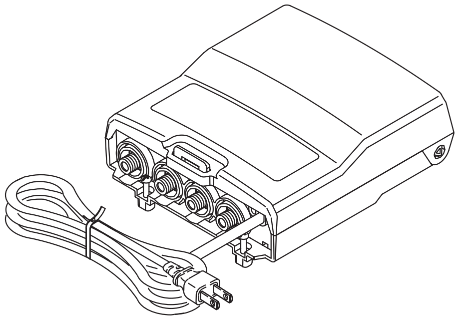
EZDSU35（電源部 PSD60SPA 内蔵）

ＤＨマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、ＵＨＦアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

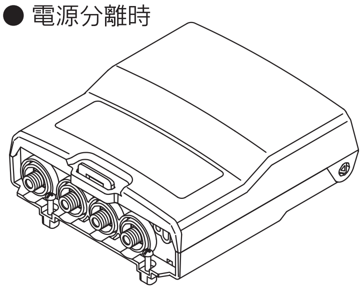
ご使用の前に、必ずこの「**取扱説明書**」と別紙の「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや故障したときにもお役立ていただくために**取扱説明書**は大切に保管してください。

◆外観

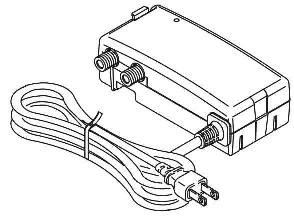
● 電源内蔵時（屋外・屋内共用）



● 電源分離時



・ブースタ本体（屋外・屋内共用）



・電源部：PSD60SPA（屋内専用）

付属品
- ケーブル防水キャップ（４ヶ）
- Ｆ形接栓：ＦＰ－５（６ヶ）
- 木ネジ：長さ２０ｍｍ（１ヶ）、長さ１３ｍｍ（２ヶ）

◆特　長

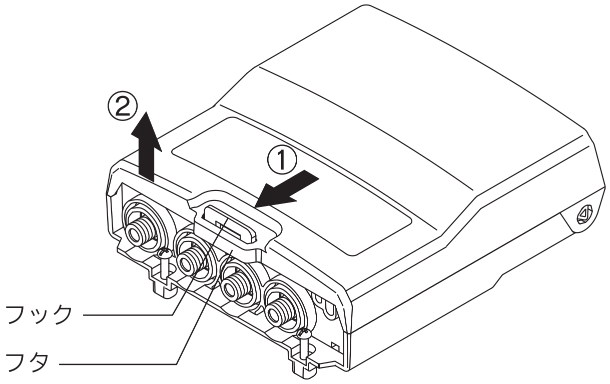
- **地上・ＢＳ・１１０度ＣＳ デジタル放送対応**
  地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送・１１０度ＣＳデジタル放送の両偏波受信システムに対応する低雑音・高出力なＣＳ２６１０ＭＨｚ広帯域ブースタです。
- **かんたん調整（適正出力お知らせ機能）**
  過入力による画像の乱れをお知らせする調整ランプをUHF帯域に搭載しており、レベル調整を容易に行うことができます。
- **高シールド性能**
  ブースタ本体、電源部とも高周波部分を金属ケースでシールドし、ケーブル接続部にＦ形接栓を使用しており外来ノイズによる影響を防ぎ良質な画像を維持できます。
- **電源内蔵／分離可能型**
  本器は電源を内蔵したまま使用できるほか、電源部を取り出して離れた場所から本体に重畳送電して使用することができます。この場合、工具を使わないで簡単に電源部を取り出すことができます。
  またブースタ本体は屋外・屋内共用です。（電源部はブースタ本体から分離した状態では屋内専用となります。）
- **携帯電話帯域のフィルター強化**
  携帯電話帯域のフィルターを強化しており、携帯電話等の妨害電波によるテレビ信号への影響を軽減します。
- **トラッキング対策電源プラグ**
  電源プラグは耐トラッキング対策品を使用しております。

◆使用上のご注意

- **ブースタの設置工事には技術と経験が必要です。販売店や工事店にご相談ください。**
- 本器は付属の電源部：ＰＳＤ６０ＳＰＡ以外は使用できません。またＰＳＤ６０ＳＰＡは本器専用です。他のブースタ電源部として使用することはできません。
- ブースタ本体とＣＳ・ＢＳアンテナ間の同軸ケーブル、および電源部を分離して使用する場合のブースタ本体と電源部を接続する同軸ケーブルには電流が流れます。
  ・同軸ケーブルは、無理に曲げたりキズをつけたりしないでください。
  ・分配器や壁面端子など、ＣＳ・ＢＳアンテナとブースタ間やブースタ本体と電源部間に接続する機器は必ず電流通過形のものを使用してください。
  ・同軸ケーブルまたは同軸ケーブルとの接続部がショートすると、過電流保護回路が働き、電流が遮断されブースタ本体と電源部のパイロットランプが消えます。この場合、電源プラグをコンセントから抜き取り、配線・接続のチェックをして原因を取り除いて下さい。電源プラグを接続すると回路は自動復帰します。
- 電源部は屋内専用です。ブースタ本体から分離して使用する場合は屋外や水のかかる場所に設置しないでください。
- UHFチャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく動作しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

八木アンテナ株式会社

◆本体フタの開けかた



① フックを矢印の方向に押して、ロックを解除します。
② この状態で、フタを矢印の方向に開けてください。
● フタはいっぱいまで開くと開放状態を保持します。

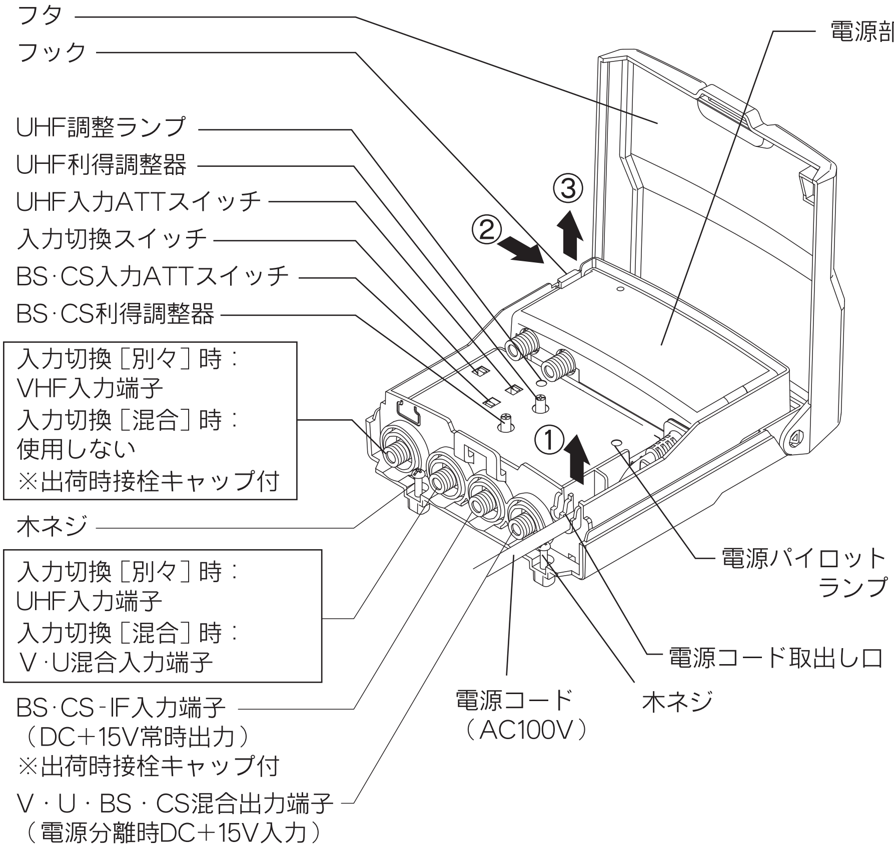
⚠警告

● 本体のフタは作業後、確実に閉めて下さい。雨水などの侵入により、火災・感電の原因となります。

⚠注意

● フタの開閉時や電源部の着脱時、無理な力を加えないでください。
ケースが破損して、火災・感電・機器の故障の原因となります。
● お手入れのさい、ベンジン・シンナーなどの溶剤は使わないでください。
プラスチックケースが変質し、故障の原因となります。

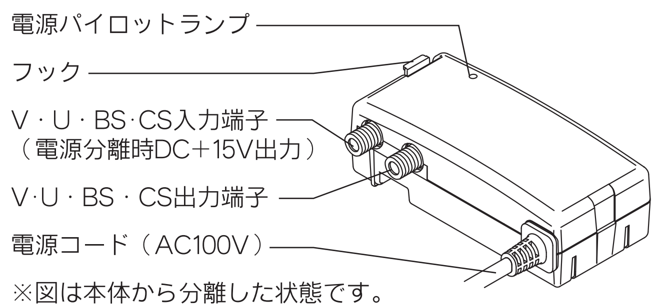
◆各部の名称と電源部の外しかた



電源部の外しかた

①電源コード取出し口から、電源コードを矢印方向（手前側）に引き抜いてください。
②電源部のフックを矢印の方向に押して、ロックを解除してください。
③フックを押した状態で矢印の方向に引き上げ、ある程度引き上げてから電源部を持ち、ケースより引き抜いてください。
※電源部を再度装着する場合は、電源部をケースと平行の状態で、フックのロック音がするまで押し込み、電源コード取出し口に電源コードを押し込んでください。

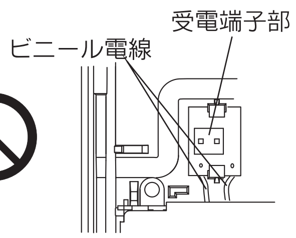
電源部：PSD60SPA（屋内専用）



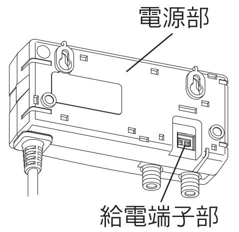
※図は本体から分離した状態です。

⚠警告

● 電源部を分離して使用する場合、本体内部の受電端子部とビニール電線はいじったり、引っ張ったりしないでください。
火災・機器の破損の原因になります。



● 電源部背面の給電端子部や穴には金属類や燃えやすいものを入れないでください。
火災・感電の原因になります。

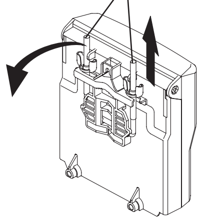


◆取り付け方法

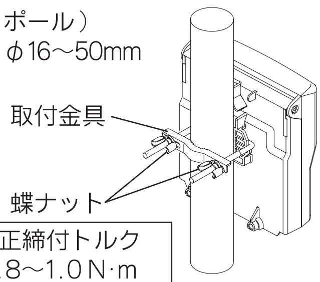
● **ブースタ本体の取り付け方法**
ブースタ本体はマスト（ポール）または壁面に取り付けることができます。

マスト（ポール）取り付け方法

①コの字ボルトを手前側に引き出し、ボルトを上方向に持ち上げてから水平に回します。



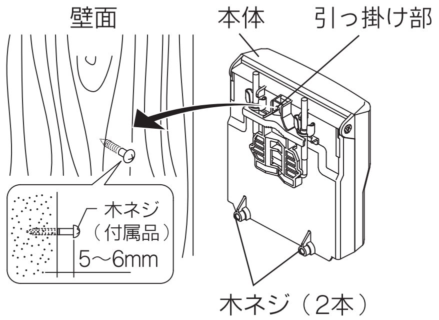
②蝶ナットをしっかりと締め、マストに固定します。



適正締付トルク
0.8～1.0 N·m
（約 8～10 kgf·cm）

壁面取り付け方法

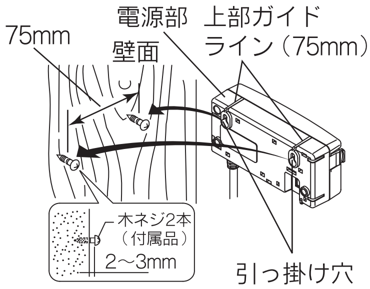
①付属の木ネジ（長さ20mm）を壁面に取り付け、本体上部を引っ掛けてください。
②本体に備え付けの2本の木ネジでしっかりと固定して下さい。



● **電源部の取り付け方法**
電源部は据え置きのほか、壁面に取り付けることもできます。

壁面取り付け方法

①付属の木ネジ（長さ13mm）2本を上部ガイドラインに合わせて壁面に取り付けてください。
②ケーブル取付面を下側にして、引っ掛け穴に木ネジを引っ掛けてください。



75mm（実寸）

⚠警告

● ブースタ本体を屋外に設置する場合は、必ずケーブル取り付け面が下側になる様まっすぐに取り付けてください。
雨水の浸入により火災・感電の原因になります。

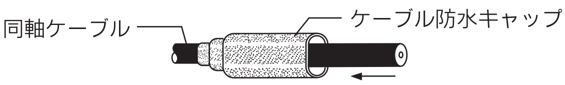
⚠注意

● 機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。
落下により、ケガ・機器の破損の原因になります。

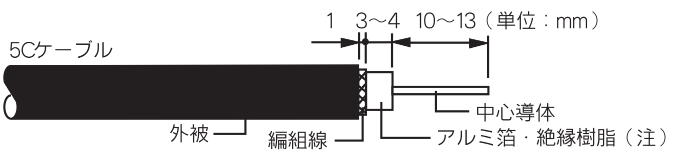
◆同軸ケーブルの端末加工方法

● CS·BSアンテナからブースタ本体への接続及びブースタ本体から電源部―テレビ（分波器）間の同軸ケーブルは、ケーブルのロスによる映像障害を防ぐためCS·BS用低損失同軸ケーブルS5CFBをご使用ください。
● F形接栓の取り付けは、接触不良やショートを防ぐため、ていねいに行ってください。
● 付属のF形接栓（FP-5）は、5Cケーブル用です。

ブースタ本体を屋外に設置する場合、ケーブル防水キャップを同軸ケーブルの太さにあわせて切断し、あらかじめケーブルに通しておいてください。

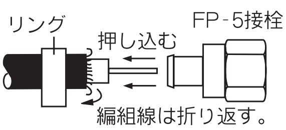


① ケーブルを下図のように加工してください。
※中心導体に付着物（絶縁樹脂の皮膜）が残っている場合は、必ずきれいに取り除いてください。

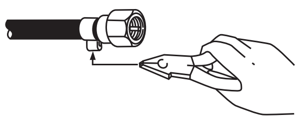


注：同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がなく、絶縁樹脂のみのものもあります。

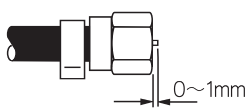
② ケーブルにリングを通し、FP-5接栓をアルミ箔と編組線の間に押し込んでください。
編組線はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。



③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。



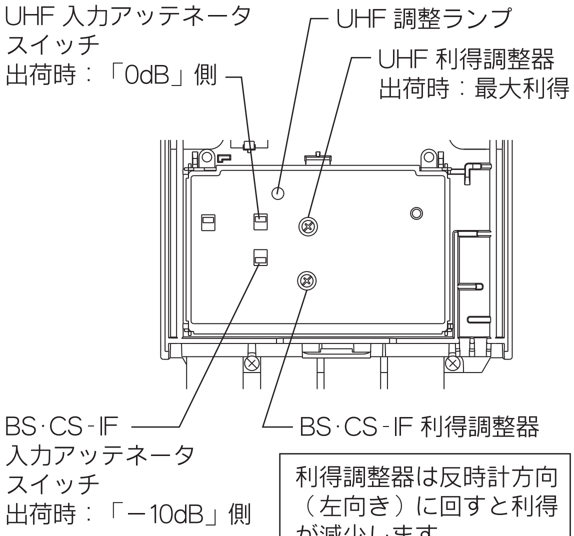
④ 中心導体をニッパーなどで右図の寸法に切断して完成です。



ご注意
中心導体が長すぎると機器の端子が破損します。
先端は必ず 0～1mm に切断してください。

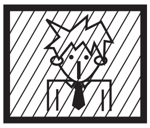
※ S5CFB（中心導体径φ1.05mm）より中心導体の太いケーブルを使用する場合は、必ず中心ピン付きのF形接栓（別売）をご使用ください。機器の端子が破損します。

◆調整機能について



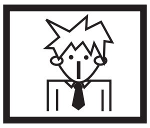
利得調整器は反時計方向（左向き）に回すと利得が減少します。
出荷時：最大利得

● **調整ランプが点灯している状態（テレビ画面に不具合が発生します）**



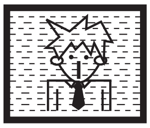
入力アッテネータスイッチを「−10dB」側にします。調整ランプが消えない場合は、利得調整器を最小方向（反時計方向）にゆっくり回し、ランプが消える位置で止めてください。

● **調整ランプが消えている状態**



利得調整器が最大位置、入力アッテネータスイッチが「0dB」側にあることを確認してください。

適正レベルの場合、調整ランプは点灯しません。



調整ランプが消えている状態で利得調整器や入力アッテネータスイッチを操作すると、利得不足によりスノーノイズやブロックノイズを発生する恐れがあります。

各チャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく動作しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

⚠注意

● 利得調整器・スイッチの操作は慎重にお取扱ください。
無理な力を加わると機器の故障の原因になります。

デジタル放送受信機のレベル表示について

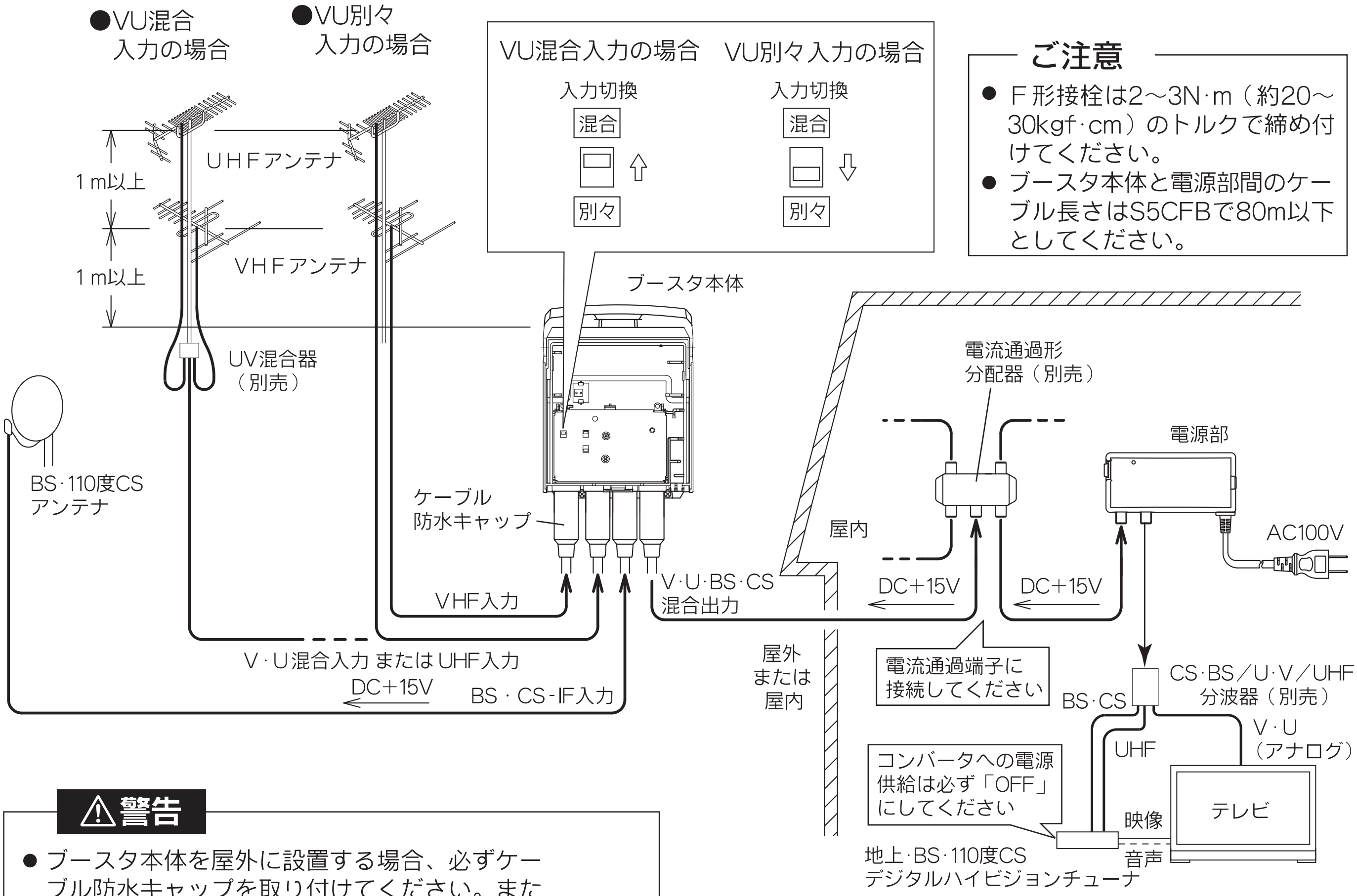
本品を設置してもデジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらない場合や下がる場合がありますが、本品の不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信ＣＮ比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

●こんな症状の場合は

症　状		原　因	対　策
テレビ画面に何も映らない		誤接続	各アンテナからの入力ケーブルの接続、および入力切換スイッチの位置を確認してください。
		配線のショート・断線	AC100V接続時、電源部のランプが点灯しない場合は配線のショートが考えられます。電源部のランプが正常でブースタ本体のランプが消えている場合はケーブルの断線や、電源−本体の間にある機器の電流通過端子に接続されていない場合があります。配線・接続を確認してください。
UHF帯域の利得を最小、入力アッテネータ「−10dB」でも調整ランプが消えない		強電界地域における過入力	本器の適正入力レベルを超えております。ブースタの前に別売のアッテネータを入れてください。
デジタル放送	画面にブロックノイズが出る	アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチを「0dB」側に、利得調整器を最大側（時計方向）いっぱいに回します。UHF帯域の調整ランプが点灯した場合は、利得調整器を最小側（反時計方向）に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
	テレビ画面に何も映らない	テレビへの過入力	入力アッテネータスイッチを「−10dB」側に、利得調整器を最小側（反時計方向）いっぱいに回します。改善しない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
アナログ放送	画面にスノーノイズが出る	アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチを「0dB」側に、利得調整器を最大側（時計方向）いっぱいに回します。UHF帯域の調整ランプが点灯した場合は、利得調整器を最小側（反時計方向）に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
	調整ランプが消えているのに画面にビート縞がでる	各チャンネルの入力レベル差が大きい	障害の出ている帯域の入力アッテネータを「−10dB」側にします。画面に改善がない場合は利得調整器を最小側（反時計方向）に回して良好な画面になるよう調整してください。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さを調整してください。
	画面にワイパー現象（テレビ画面上で帯が移動する状態）やゴーストが出る	他の電波との混信建物などによる電波の反射	本器では混信やゴーストによる障害は改善できません。他の電波を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

◆接続例

ご注意
- Ｆ形接栓は2～3N·m（約20～30kgf·cm）のトルクで締め付けてください。
- ブースタ本体と電源部間のケーブル長さはS5CFBで80m以下としてください。



⚠警告
- ブースタ本体を屋外に設置する場合、必ずケーブル防水キャップを取り付けてください。またVHF入力端子やBS·CS入力端子を使用しない場合は、必ず接栓キャップを取り付けてください。
- ケーブル防水キャップ・接栓キャップは、根元までしっかりと差し込んでください。
雨水などの侵入により、火災・感電の原因になります。

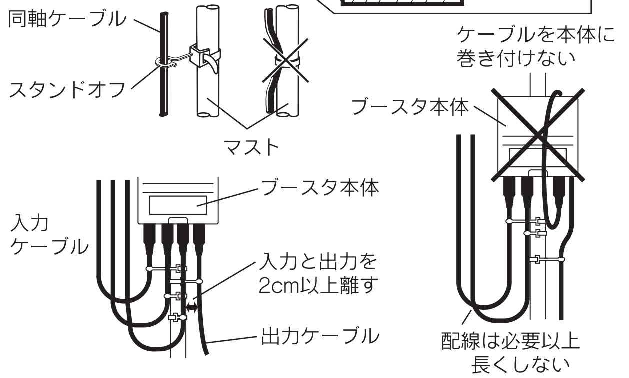
⚠注意
- 電源プラグは配線工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。
感電の原因になることがあります。

ブースタを正しく取り付けないと、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなります。
（このような現象を発振障害といいます。）



発振障害の画像例

≪発振防止のための正しい取り付け方法≫
① VHFアンテナ・UHFアンテナ・ブースタはそれぞれ1m以上離して設置してください。
② 同軸ケーブルは必ずスタンドオフを使って固定し、金属性マストなどに密着させないでください。
③ 同軸ケーブルを束ねたり、ブースタに巻きつけたりしないでください。
④ ブースタの入力側と出力側のケーブルを近づけないよう、スタンドオフを使い2cm以上離れるように配線してください。
⑤ 同軸ケーブルは極力短く配線し、風などでマストに触れないようにしてください。
⑥ VHFまたはUHFアンテナのみを接続する場合は、入力切換スイッチを「別々」側にしてください。



◆標準仕様

●ブースタ本体

項目	FM・VHF CH1～12	UHF CH13～62	BS・CS-IF
周波数帯域（MHz）	76～222	470～770	1000～2610
利得（dB）	－3（パス）	30～38	25～35
定格出力レベル（dBμ）	－	111 ※1 103 ※2	103（24波） 100（36波）
利得調整範囲（dB）	－	0～－10	0～－10
入力アッテネータ（dB）	－	0，－10	0，－10
適正入力レベル（dBμ）	－	39～76 ※1 39～68 ※2	41～73
帯域内利得偏差（dB） 全帯域	－	5以下	6以下
帯域内利得偏差（dB） 任意の34.5MHz	－		2以下
雑音指数（dB）	－	470～710MHz：3以下 710～770MHz：3.5以下	1000～2150MHz：6以下 2150～2610MHz：8以下
入出力インピーダンス（Ω）	75（F形）		
VSWR	3以下	3以下	2.5以下
直流供給電源（V）	DC＋15（容量4W）		
電源	DC＋15V 0.19A（4W送電時0.46A）		
使用温度範囲（℃）	－20～＋40		
寸法（mm）	145（高さ）×133（幅）×58（奥行）		
質量（g）	750（電源部内蔵時）		

※1 アナログ2波
※2 アナログ7波＋デジタル9波（－10dB）

●電源部 （PSD60SPA）

項目	仕様
周波数帯域（MHz）	10～2610
電源（V）	AC100（50／60Hz）
消費電力（W）	10
出力電圧・電流	DC＋15V 最大0.6A
入出力インピーダンス（Ω）	75（F形）
挿入損失（dB）	VHF・UHF：2以下 BS・CS-IF：3以下
使用温度範囲（℃）	－20～＋40
外観寸法（mm）	37（高さ）×117（幅）×63（奥行）
質量（g）	250

●この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■製品に関するお問い合せ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

3GBZ286A0-08.01